

泌尿器科の癌に対する薬物療法に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

2026 年 3 月 2 日 ～ 2029 年 3 月 31 日

〔研究課題〕

転移性腎細胞癌に対する免疫チェックポイント阻害薬併用療法後の cytoreductive nephrectomy の有用性および予後因子の探索研究

〔研究目的・意義〕

近年、転移を有する腎細胞癌に対する薬物治療が著しく進歩しています。かつては転移を有する腎細胞癌に対して、薬物療法開始前に腎臓を摘出することが広く行われてきました。しかし、新たな薬物療法の登場によって、薬物療法後に腎臓を摘出する手術が有効な治療選択肢となりうる可能性が考えられています。そこで今回、複数の機関からデータを集め、効果や副作用を明らかにする研究を企画しました。

〔対象・研究方法〕

2018 年 8 月 21 日 ～ 2023 年 7 月 31 日の間に当院泌尿器科で診断時に転移を有する腎細胞癌と判断され、免疫チェックポイント阻害薬を含む薬物療法を施行された方を対象とします。治療成績、生命予後、治療に伴う有害事象などの臨床経過を明らかにし、統計的な解析を行います。なお、対象には亡くなられた方も含まれます。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部泌尿器科学講座 責任者：金子智之（泌尿器科学講座准教授）

研究事務局：一般社団法人 腎癌研究会

研究代表者：加藤廉平（岩手医科大学泌尿器科学講座 講師）

他の参加機関：帯広厚生病院、慶應義塾大学、熊本大学、東京女子医科大学足立医療センター、防衛医科大学校、徳島大学、岩手医科大学、富山大学、東京女子医科大学、ベルランド総合病院、横浜市立大学、山口県立総合医療センター、虎の門病院、日本医科大学、京都府立医科大学、帝京大学ちば総合医療センター、埼玉医科大学国際医療センター、北九州市立医療センター、藤田医科大学、順天堂大学、船橋市立医療センター、神戸市立医療センター中央市民病院、滋賀医科大学附属病院、和歌山県立医科大学、上尾中央総合病院、三井記念病院、長崎大学、神戸大学、東京科学大学、埼玉医科大学総合医療センター、千葉大学、四国がんセンター、北海道大学、久留米大学、弘前大学、九州大学、山形大学

〔個人情報の取り扱い〕

氏名・生年月日・住所・電話番号・ID 番号などの個人情報はすべて個人が特定出来ない様に加工されてから岩手医科大学に提供されデータベース化の後に解析されますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。研究終了後に、加工された情報の対照表およびデータセットは倫理委員会事務局に提出され、帝京大学臨床研究センターにて 10 年保管の後に廃棄いたします

対象となる患者様、ご遺族様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者:金子智之(帝京大学医学部泌尿器科学講座 准教授)
研究分担者:中川徹(帝京大学医学部泌尿器科学講座 主任教授)
 皆川英之(帝京大学医学部泌尿器科学講座 助教)
 納谷幸男(帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科 教授)
 五島悠介(帝京大学ちば総合医療センター泌尿器科 准教授)
住所:東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)